

平成30年度の 主な事業について



吉岡 巖 議員

有家小学校の建て替えについて

議員 有家小学校の建て替えのスケジュールは、平成30年度、基本・実施設計の業務に着手し、平成30年度に行い、まず仮設校舎の建設と現校舎の解体工事を予定している。

市長 今年度、基本・実施設計の業務に着手し、平成30年度に行い、まず仮設校舎の建設と現校舎の解体工事を予定している。

新校舎の建設については、平成31年度に着工し、32年の12月までの完成予定である。供用開始は、平成33年の4月を予定し作業を進めている。

口ノ津港のターミナルビルについて

議員 ターミナルビル工事について説明を。

市長 現在、県により口ノ津港の埋め立て工事が行われており、来年の2月下旬までかかる予定だ。口ノ津港ターミナルビルの新築工事については、来年3月に着工し、完成は平成31年の6月頃を見込んでいる。供用開始については、浮桟橋や外構工事、その他の準備等があるのので、平成31年の秋頃になると考えている。

有馬商業跡地の活用計画について

議員 着工と供用について説明を。また計画の中でクラブハウス等を取り組まれているようだが、一面しかないサッカー場にシャワー室が必要なのか。逆に有家総合運動公園あたりに必要じゃないかと思っている。前回の一般質問にて、雨天練習場を有家に建設地が確保できれば建設するという



口ノ津港改修工事（航空写真）

答弁だったので、サッカー場に協力するが、いろいろな施設は省いて、税金の無駄遣いの無いようにしていただきたい。

教育次長 今年度中に多目的運動広場と、校舎解体工事の実施設計に着手する予定である。

校舎の解体については、来年度中に完了するよう進めていく。また、多目的運動広場の整備については、平成31年6月に着工し、32年の3月に完成する予定である。

構想については、市長からの答弁のとおり、サッカー場としても利用可能で、多目的に市民の皆様のような活動やイベント、健康づくりなどに利用できる多目的運動広場ということで整備を予定している。

国民の命を守る 唯一の道は、戦争させないこと

市長 / 国も外交努力を行っていただきたい。



桑原 幸治 議員

北朝鮮問題について

議員 安倍首相は軍備増強で対応しようとしているが、国民の命や財産を守る唯一の道は戦争をさせないことだ。

市長 日本には米軍基地がある。アメリカと北朝鮮が戦争になったら、攻撃されないという保障はない。平和的な解決に向けて行動していただきたい。

議員 雲仙市でミサイルが落下したという想定で訓練がなされた。これに対しては、地元住民や原爆体験者などから批判が出ている。「戦時中は、防空訓練が日常的にあったが、原爆の前では何も役立たなかった」「武力攻撃まで想定して国民の危機感をあおるよりも、外交努力で解決すべき」などである。

市長 外交で精一杯努力するべきだと思う。

出ている。「戦時中は、防空訓練が日常的にあったが、原爆の前では何も役立たなかった」「武力攻撃まで想定して国民の危機感をあおるよりも、外交努力で解決すべき」などである。

市長 外交で精一杯努力するべきだと思う。

子供の貧困問題について

議員 子どもの貧困問題についての認識は。

市長 子どもの将来が、貧困などの、生まれ育った環境によって左右されることなく、子どもたちが、健やかに夢と希望を持って成長できるようにすること、これが大切だと思っている。

られた勘定になるか。

市民生活部長 一人当たり平均2万2千円になる。

議員 国保税の引き上げは、市民のくらしを壊してしまう。繰入れは続けるべき。

市長 南島原市だけが続けることは、将来的にはできないと思う。

消費税について

議員 国民から吸い上げた消費税は、社会保障のためではなく、そのほとんどは大企業減税の穴埋めに使われている。

市長 消費税は、社会保障制度の安定化のために使ってほしい。

議員 財源が必要なら、儲かっている大企業や富裕層、高額所得者から納めて貰うべき。

市長 公平な税制度を望む。

国保運営の広域化について

議員 28年度は、一般会計から国保会計に4億500万円を繰入れた。これがなかったら国保税はいくら引上げ

